

映画のタイトルを見て、「わっ、何か怖そう…」「むずかしそう…」
「フェミニズム？ 私(僕)には関係ないわ！」って思われた方、そういう方たちにこそ是非ご覧いただきたい映画です。

松井久子監督ご自身がそうであったと告白されているように「リブ」や「フェミニズム」を自分とは違う世界のことだと誤解している人って多いのではないのでしょうか？

安倍総理の言う「すべての女性が輝く社会」とは裏腹に“生き難さ”を感じているあなたに贈ります！是非おいで下さい。

闘った、生きた、老いた：
彼女たちの「リブ」は、自分を生きること。

何を怖れる

フェミニズムを生きた女たち

70年代初頭にウーマンリブが始まった頃
彼女たちはまだ20代、30代だった
おのれの生きくさにもがき、社会に向かい「NO」と叫んでいた
その後約半世紀、女たちは自己と社会を肯定すべく
つよい意思をもって生きてきた
男社会からうとまれても、同性たちの偏見や誤解の目に晒されても
進んで自らを「フェミニスト」と名のり、目の前の壁と闘いながら
つねに女たちと共感し、女たちとつながって
老年期を迎えた今もなお、みずみずしく女であることを愛している
そんな彼女たちは、時代に何を遺そうとしてきたか？
次の世代に何を伝えようとしているか？
「ユキエ」「折竹梅」「レオニー」の松井久子監督が
フェミニズムたちの証言でつづる初のドキュメンタリー映画

出演者：

池田恵理子
井上 輝子
上野千鶴子
加納実紀代
桜井 陽子
高里 鈴代
高橋ますみ
滝石 典子
近山 恵子
※中西 豊子
田中喜美子
田中 美津
※樋口 恵子
米津 知子

松井 久子
Hisako Matsui
映画監督/プロデューサー



出演者の※印 樋口恵子さん(NPO 法人 高齢社会をよくする女性の会・理事長) 中西豊子さん(高齢社会をよくする女性の会・京都代表)

2015年 **3**月**14**日(土) 13:30~16:00
(受付 13:00~)

- ところ：ドーンセンター (大阪府立男女共同参画・青少年センター) 4F 大会議室①
- 参加費：一般 500円 (会員 300円) (定員 72 名になり次第 〆切ります)
- 申込先：「高齢社会をよくする女性の会・大阪」事務局 (申込用紙は裏面)

主催：高齢社会をよくする女性の会・大阪

共催：認定特定非営利活動法人ウイメンズアクションネットワーク (WAN)
ドーン財団 ((一財) 大阪府男女共同参画推進財団)

映画試写会 『何を怖れる』

◆申込書

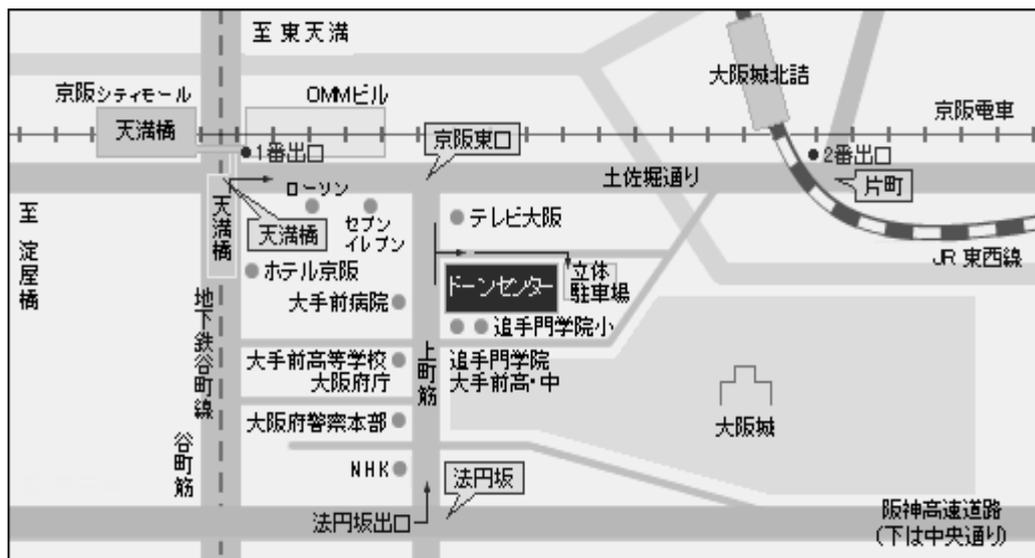
お名前	ふりがな ()		
ご住所	(〒 -)		
電話 携帯電話	fax	() ()	()
e-mail			
所属・お仕事			

★FAXでお申し込みの場合は、上記の申込書にご記入のうえ
事務局 06-6762-0550 まで送信してください。

★メールでお申し込みの場合は 必要事項をご入力の上
wabas-osaka@mbm.nifty.com まで。
(ホームページからもお申込みいただけます)

◆ドーンセンター (大阪府立男女共同参画・青少年センター)

TEL : 06-6910-8615



- ・京阪「天満橋」駅下車。東口方面の改札から地下通路を歩いて1番出口より東へ約350m。
- ・地下鉄谷町線「天満橋」駅下車。1番出口より東へ約350m。
- ・JR東西線「大阪城北詰」駅下車。2番出口より土佐堀通り沿いに西へ約550m。